九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

# [003] 文獻探究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/16331

出版情報：文獻探究. 3, 1978-09-23. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

## 「原稿募集」

「文献探究」第四号の原稿を募集致します。

一、宛先「812　福岡市東区箱崎　九州大学文学部国語学国文学研究室気付　文献探究編集部」

二、〆切　昭和五十四年三月三十一日

三、内容は、国語学・国文学に関するものであれば、何でも結構です。

四、四百字詰原稿用紙二十五枚程度を原則とします。

五、論文掲載の場合は、薄謝として本誌二部をさしあげます。

六、会員以外の方の投稿も歓迎致しますので、御投稿お願いします。

## 「会員往来」

「文献探究の会」も発足以来一年半、何とか「会」の名に相応しい形式を整えつつある。もとより、此様な小人数の集団において、機構・形式の整定を優先させることは何の意味も持たず、その内実を確固たるものにすることこそ必急のものである筈である。前記の会則の如きものも、本誌の一～三号を刊行する過程で得られた諸会員の考えの最大公約数的なものを纏めたものである。謂はば、淡能碁呂嶋的会則である。

筑摩書房が倒産し、福岡の水不足は最悪の状態の夏であったが、文献探究の会は倒産の危惧もなく、会員の論考も溢れんばかりで底をつきそうもない。次号も安泰であろう。

会員の崎村・木部両氏は、今夏、台湾へ言語調査に赴いたが、成果は如何であろうか。次号あたりで、その一端でも聞きたいものである。